

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	個別ケア、個人の尊重の部分で、どうしても共同生活が重視されがちルール作りになる傾向に有る。 入居者様個人個人の価値観や想いが異なる事を再確認し日々の時間を共有しなければならない。	人権について全職員が改めて学び、自己決定や意向の尊重、個別ケアの実現に向けて取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様の生き方や価値観(大切にしているであろう価値観)に共感する訓練。</li> <li>24Hシートへの記載内容の深掘り</li> <li>個別ケアの視点⇄共同生活の視点でのルールづくりの検討議論。バランス調整。</li> <li>遠慮なく入居者様に話してもらえる環境づくり</li> </ul>	6ヶ月
2	2	事業所が地域の一員であることをより地域に広めたいが、有効な手段が分からず模索中。地域に足を運び交流を持ちながら、事業所を知ってもらおう取り組みの継続が必要。	地域での行事に継続的に参加し、自治会や地域住民にみしまの家の存在をより知ってもらえるように活動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のお祭りなどの行事に参加。</li> <li>オレンジドアやケアネットなどの交流会に利用者と一緒に参加する。</li> <li>災害訓練や避難訓練の共催</li> <li>近隣の学校への訪問。</li> <li>認知症についての活動(認サポなど)</li> </ul>	12ヶ月
3	27	記録や申し送りノートでの情報共有はできているが、記録に未記載な情報や、申し送りノートのチェックができていない時がある。	日々の記録や申し送りノート等記録の重要性を改めて学び、記入漏れ・確認漏れのないような仕組みを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有の重要性を改めて学ぶ</li> <li>記録の方法(書式をむくめて)を再検討する</li> <li>記録物の一元化を図る</li> </ul>	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月